



保健だより

モアレ検査号

真野小学校 保健室

六年生のみなさんへ

6月1日にモアレ検査があります。モアレ検査は「脊柱側わん症」という、成長期に起こる子どもの脊柱(背骨)の病気を早期発見するために行います。

「脊柱側わん症」は原因が不明なことが多く、軽度であれば自覚症状がほとんどありません。脊柱がねじれたり、わん曲(弓形にまがること)する病気です。

(裏面の絵を参照)

早期発見により、経過をみることや、保存療法をして、わん曲の進行を防ぐことが大切です。

モアレ検査で山の等高線のように、背中
の状態を写します。 →



モアレ検査ってなあに？

背中を特殊な写真で写して、背中の中の真ん中を通っている背骨(脊柱)が、左右いずれかに曲がりねじれていないかを調べる検査です。

検査の受け方と注意

- ①教室で体操服に着替えて理科室前に来る。
- ②靴は廊下に脱ぎ、検診会場に入ったら、受付の先生から番号札を受け取る。
- ③自分の番に近くなったら体操服の上を脱ぐ。
- ④撮影係の人に番号札を渡して、撮影台の足形の上に乗る。(体を預けるような感じ)
- ⑤撮影者が「はい終わりました」と言うまで動かない。(2~5秒) 体をまげたり、下を向きすぎないようにしよう。
- ⑥撮影が終わったら服を着て教室に戻る。

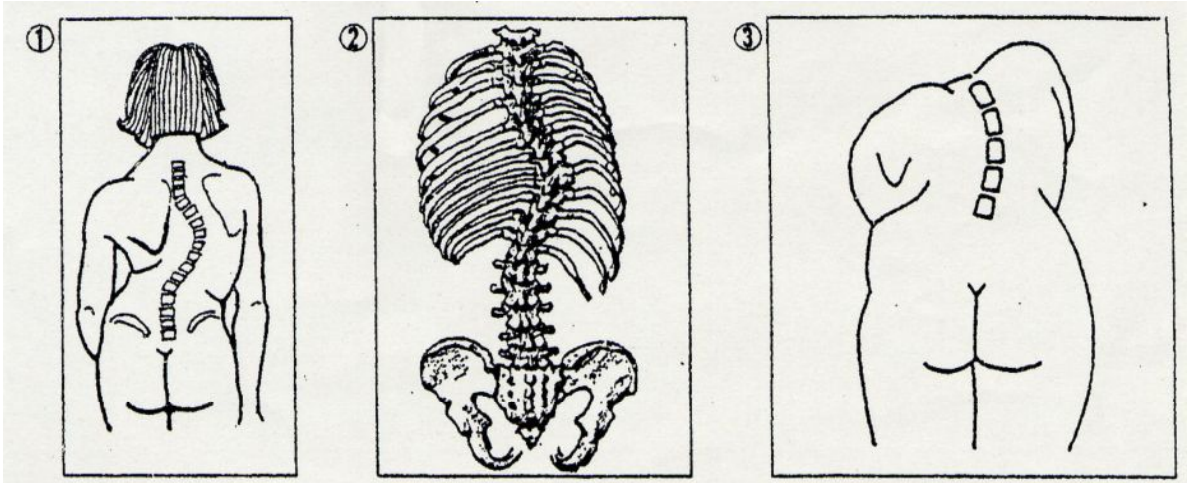
※検診中は、ついたての中に入って一人ひとり検査を受けます。中で検査中の人をのぞいたりしてはいけません。

※撮影は体操服のズボン一枚で行います。

○ もし、今回の検査で異常が見つかったら？○

・後日に、整形外科の専門の先生に実際に背中をみてもらって、正常の範囲内か、レントゲンをとってくわしくしらべる必要があるかななどを指導していただきます。

せきちゅうそく しょう
脊柱側弯症



体操服をもってきてね。